

事業報告書

事業名	令和3年度社会福祉士リーダー養成研修事業																								
事業の実施状況	<p>1. 研修会の開催</p> <p>(1) 基礎研修を伝達するリーダーの養成</p> <p>○2021年度 基礎研修講師養成研修</p> <p>開催日程：2022年2月11日～12日</p> <p>プログラムは別添</p> <p>受講者：延べ127人</p> <p>内訳①</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr><td>1 科目受講者</td><td style="text-align: right;">74人</td></tr> <tr><td>2 科目受講者</td><td style="text-align: right;">26人</td></tr> <tr><td>3 科目受講者</td><td style="text-align: right;">15人</td></tr> <tr><td>4 科目受講者</td><td style="text-align: right;">2人</td></tr> <tr><td>5 科目受講者</td><td style="text-align: right;">0人</td></tr> <tr><td>6 科目受講者</td><td style="text-align: right;">10人</td></tr> </table> <p>内訳②</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr><td>権利擁護・法学系科目 I</td><td style="text-align: right;">47人</td></tr> <tr><td>地域開発・政策系科目 I</td><td style="text-align: right;">41人</td></tr> <tr><td>サービス管理・経営系科目 I</td><td style="text-align: right;">24人</td></tr> <tr><td>実践評価・実践研究系科目 I</td><td style="text-align: right;">40人</td></tr> <tr><td>ソーシャルワーク理論系科目 I</td><td style="text-align: right;">47人</td></tr> <tr><td>人材育成系科目 I</td><td style="text-align: right;">34人</td></tr> </table> <p>(2) 倫理綱領の伝達するリーダー養成</p> <p>○倫理綱領伝達研修プレ研修</p> <p>開催日程：2021年8月15日</p> <p>プログラムは別添</p> <p>受講者：78人</p> <p>(3) 実習指導者の育成に関するリーダー養成</p> <p>○実習指導者講習会講師養成研修</p> <p>開催日程：2022年1月29、30日</p> <p>プログラムは別添</p>	1 科目受講者	74人	2 科目受講者	26人	3 科目受講者	15人	4 科目受講者	2人	5 科目受講者	0人	6 科目受講者	10人	権利擁護・法学系科目 I	47人	地域開発・政策系科目 I	41人	サービス管理・経営系科目 I	24人	実践評価・実践研究系科目 I	40人	ソーシャルワーク理論系科目 I	47人	人材育成系科目 I	34人
1 科目受講者	74人																								
2 科目受講者	26人																								
3 科目受講者	15人																								
4 科目受講者	2人																								
5 科目受講者	0人																								
6 科目受講者	10人																								
権利擁護・法学系科目 I	47人																								
地域開発・政策系科目 I	41人																								
サービス管理・経営系科目 I	24人																								
実践評価・実践研究系科目 I	40人																								
ソーシャルワーク理論系科目 I	47人																								
人材育成系科目 I	34人																								

受講者：延べ 173 人

内訳

講義のみ受講者 118 人

講義＋演習受講者 55 人

(4) 都道府県社会福祉士会の生涯研修リーダーを養成

○全国生涯研修委員会議

第 2 部 ICT を活用した研修手法に関して

開催日程：2021 年 4 月 11 日

プログラムは別添

参加者：178 人

※第 1 部は委員会議で 95 人参加。第 2 部は委員以外の研修運営者も対象として研修として設定。

2. e-ラーニング講義の制作

次の 12 コンテンツを企画・制作した。

(1) 生涯研修制度基礎過程・専門課程における講義 (2 講座)

①新倫理綱領の成立過程と意義

②社会福祉士養成カリキュラムの改正について

(2) 研修の e-ラーニング化 (10 講座)

実習指導者講習会講師養成研修 (集合研修) について、4 講義を e-ラーニング講座とし、担当科目以外の科目の講義の視聴を必須とすることで、他科目との連動をpushされるようにした。また、実習スーパービジョン論については、事前視聴することで、集合研修においてより内容を深める講義・演習を可能とした。

なお、2021 年度の集合研修の実施は、コロナ禍対応のため Zoom を活用した同時双方向性を担保したオンライン研修とした。

③実習指導概論

④実習マネジメント論

⑤実習プログラミング論

⑥実習スーパービジョン論

マクロソーシャルワーク研修 (集合研修) のうち 4 講義を e-ラーニング講座として事前視聴することで、集合研修においてより内容を深める講義・演習を可能とした。

なお、2021年度の集合研修の実施は、コロナ禍対応のためZoomを活用した同時双方向性を担保したオンライン研修とした。

- ⑦求められるソーシャルワーク機能の現状と課題
- ⑧マクロソーシャルワーク概論 I
- ⑨事例を通して考えるマクロソーシャルワークの展開と過程
- ⑩事例を通して考えるソーシャルワーク機能

新スーパービジョン研修（集合研修）のうち、2講義についてe-ラーニング講座とし、スーパーバイザーとしてのスーパービジョンの進め方等についてより理解を深められるようにした。

- ⑪スーパービジョンのモデルセッション
- ⑫スーパービジョンインタビュー

なお、2021年度の集合研修の実施は、コロナ禍対応のためZoomを活用した同時双方向性を担保したオンライン研修とした。

3. 委員会の開催

○基礎研修教材開発プロジェクト会議

- ①2021年10月3日：6名
- ②2021年1月27日：6名

2回

○倫理綱領・行動規範伝達プロジェクト会議

- ①2021年7月26日4名

※2回目以降の会議については『社会福祉士の倫理 倫理綱領実践ガイドブック』の編集会議時に合わせて行ったため、本事業の中には含めない。

○実習指導者講習会講師養成プロジェクト会議

- ①2021年4月10日：7名
- ②2021年5月8日：7名
- ③2021年8月8日：7名
- ④2021年10月24日：7名
- ⑤2022年1月20日：7名
- ⑥2022年3月26日：7名

講師養成研修教材作成打合せ

- 2022年1月14日：5名
- 2022年2月2日：3名
- 2022年2月4日：2名

	<p>○全国生涯研修センター協議会 ①2021年5月8日：17名 ※企画・準備は前年度に実施、振返りと次回企画のための開催。</p> <p>4. システム改修 生涯研修制度管理システムと e-ラーニングシステムとを連動させ、研修修了履歴について一元管理できるようにした。</p>
<p>事業の成果</p>	<p>1. 研修会の開催 (1) 基礎研修講師養成研修 基礎研修は、2020年度までの社会福祉振興・試験センターの助成により、講義部分について e-ラーニング講座を作成した。これにより 2020年度はコロナ禍にあって一時開催を中止せざるを得なかった基礎研修について、2021年度においてはすべての県士会において開催ができるようになった。 2021年度は、昨年度に引き続き講義の e-ラーニング講座活用を前提に講師養成研修を実施した。また、昨年度、基礎研修テキストの改訂に伴う運営マニュアルの見直しを行ったが、e-ラーニング講座を活用してのプログラム運用に関してわかりにくい点が残っていたため、改めて e-ラーニング講座活用をした場合の運営について見直しを行い、マニュアルのアップデートを行った。さらに、2016年度以降は、運営マニュアルについてデータのみ配付としていたが、マニュアルが約 550 ページと大部となりデータだけの活用は繁雑であるため、運営者が活用しやすいよう都道府県社会福祉士会に対して印刷した冊子の配付を行った。</p> <p>(2) 倫理綱領・行動規範伝達研修プレ研修 2014年7月に国際ソーシャルワーカー連盟総会において採択された「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」を踏まえ、本会において 2020年6月に採択した倫理綱領、2021年3月に採択した行動規範について伝達するための講師養成研修を企画するため、倫理綱領・行動規範伝達研修プレ研修を実施した。 受講者アンケートの結果を踏まえ、研修テキストとして使用する『社会福祉士の倫理 倫理綱領実践ガイドブック』の内容</p>

等について検討を行うとともに、来年度の伝達研修プログラムへ反映する点について確認することができた。

(3) 実習指導者講習会講師養成研修

社会福祉士養成新カリキュラムの実習に対応できる実習指導者を養成する実習指導者講習会を都道府県社会福祉士会において開催するため、実習指導者講習会講師養成研修を開催した。

すでに養成課程は新カリキュラムとなっていることもあり、早急な講師養成への要望が寄せられていることから、当初は、1日プログラム1回の開催とする予定であったが、1日プログラムを2回開催した。

(4) 全国生涯研修委員会議（第2部）

コロナ禍にあって、集合研修方式での研修開催が困難である中、都道府県社会福祉士会において ICT を活用したオンライン研修を開催できるよう、ICT を活用した研修開催の手法に関しての研修を行った。

なお、第1部は、すでにオンライン研修の開催に取り組んでいる県士会からの事例発表と課題についての情報共有・意見交換を行う生涯研修委員会議として実施し、第2部は委員に限定せず、都道府県社会福祉士会で研修を企画・運営する者を対象に、オンライン研修の開催について ICT の専門家が講義する研修として開催した。

2. e-ラーニング講義の制作

本会では、社会福祉振興・試験センターの助成を受け、e-ラーニング講座のコンテンツ作成及びシステム運用を行ってきたところであるが、コロナ禍にあって会場への集合型の研修開催が難しくなり、ICT を活用したオンライン研修のニーズはこれまでに高まっている。とくに、受講の時間や場所の制約が少なく、繰り返し視聴できる e-ラーニング講座のニーズは高い。

また、研修の講義部分について e-ラーニング講座とし事前視聴とすることで、その後の集合研修の時間調整も行きやすく、より内容を深める演習を行うことも可能となった。

3. システム改修

生涯研修制度管理システムと e-ラーニングシステムとを連動させ、研修修了履歴について一元管理できるようにした。これに

	<p>より、都道府県社会福祉士会では講師候補者が検索しやすくなった。また、これまでは、e-ラーニング講座修了履歴については、会員が生涯研修制度管理システムのマイページから個別にを登録する必要があったが、その手間がなくなったこと、e-ラーニング講座と集合研修との組合せで構成される研修の終了履歴の登録について間違った登録をすることがなくなり、履歴管理について利便性が高められた。</p>
--	--